

平成16年9月8日

## 準天頂衛星プロジェクトの今後の進め方

### 1. 研究開発4省の共通経費負担割合の調整

- ・ 研究開発4省による共通経費(200億円)の負担総額について精査を行うとともに、4省の負担額(割合)の調整を行う。

### 2. 調整の場として準天頂協議会の拡充・強化

- ・ 実用化に向けた利用予定機関等も含めた調整の場として、現行の準天頂衛星システム開発・利用推進協議会(4省局長級と民間等から構成)を拡充・強化する。
  - ①内閣官房及び内閣府をメンバーとして追加(現在は内閣府のみオブザーバとして参加)
  - ②利用予定機関等の局長級をメンバーとして追加(現在は協議会の下部組織としてのWGに課長級が参加)
- ・ この拡充・強化した協議会における調整を踏まえて、実証期間(2008～2011年予定)中に、研究開発4省及び利用予定担当機関等が責任を持って検討を進め、測位システム整備・運用担当機関を、実証終了までに速やかに決定する。